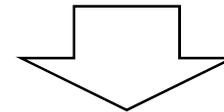


# 手順書の作成

- ・ アセスメントに基づく支援手順書の作成（2）

社会福祉法人紀伊の郷 日置川みどり園  
生活支援員主任 藤川 和貴

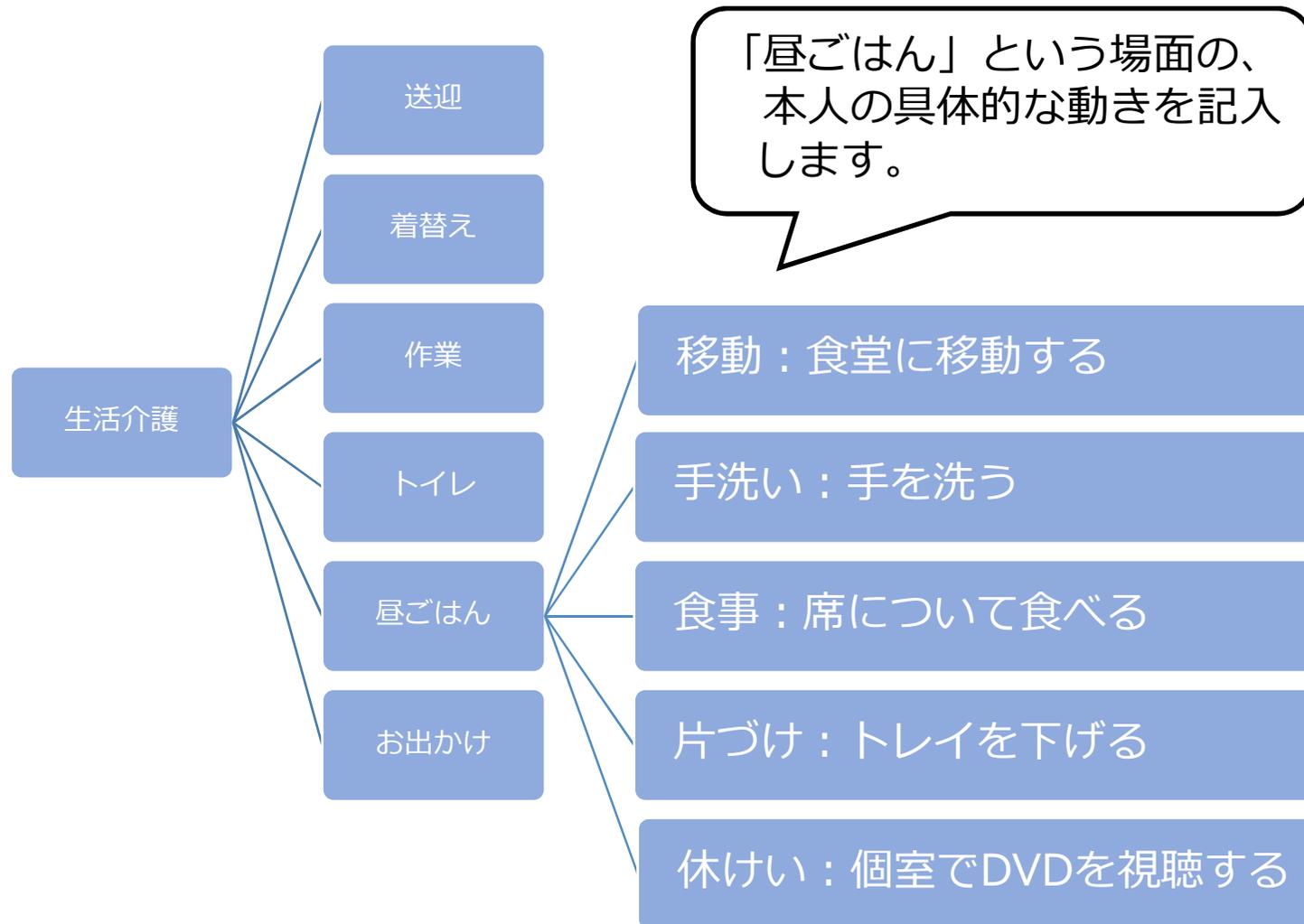


## ii) 支援手順書の作成

- 本人の動きを想定する
- 支援者の動きや必要な配慮を考える



# 工程ごとに本人の動きを考える



# 身近なことの手順を考えてみましょう

カップラーメンを作る動き  
を順番に考えてみましょう。

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- .
- .
- .

## 個人ワーク | 活動の手順を考える

1. 工程ごとに本人の動きを想定します。
2. 支援手順書に本人の動きを記入します。

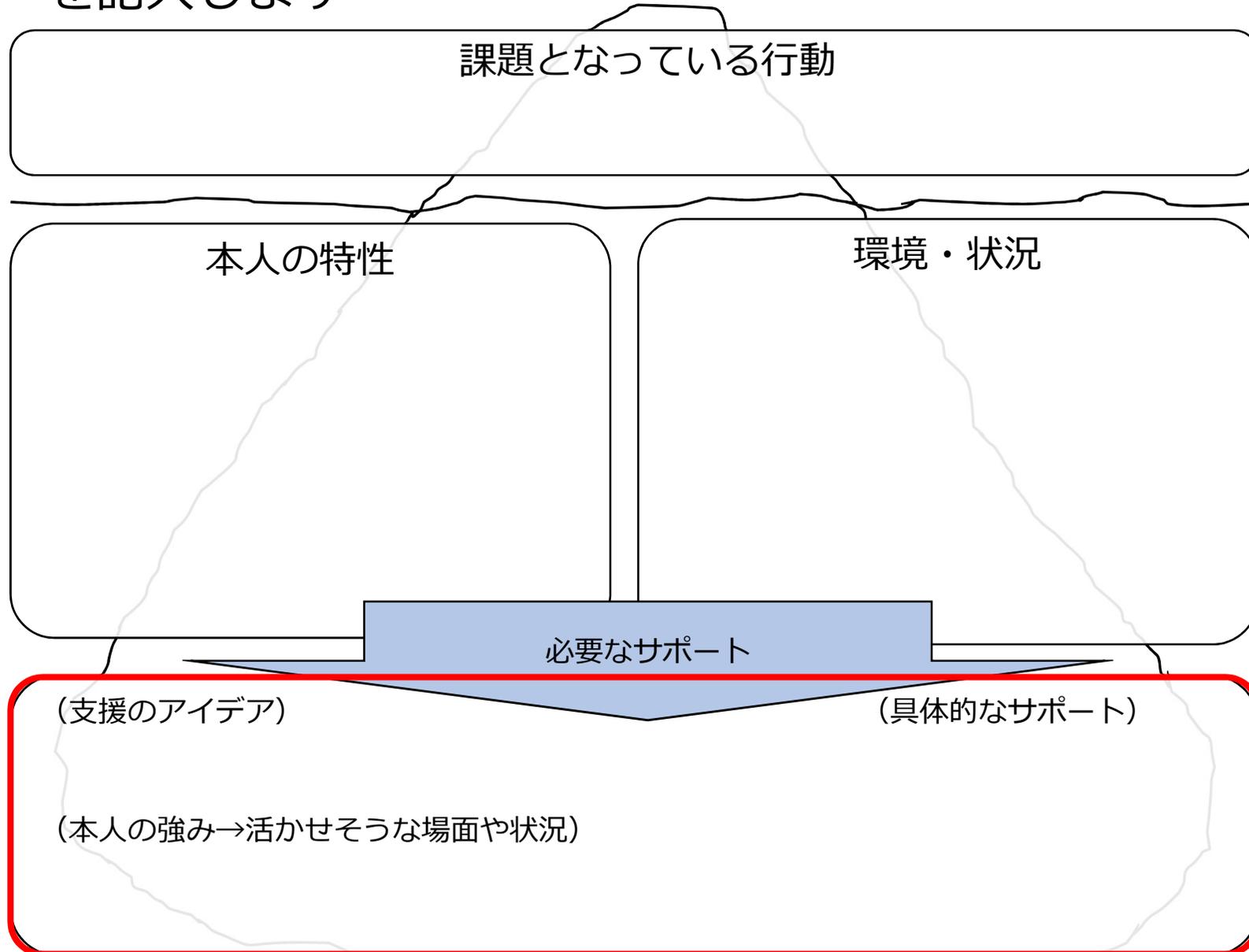
# グループワーク | 活動の手順を決める

1. 場面ごとの想定される本人の動きをグループで共有します

※支援手順書（グループ用）に記入



必要なサポートを根拠に、支援者の動きや必要な配慮を記入します









# 支援手順書作成 支援者の動きや必要な配慮を考える

必要なサポートを根拠に

1. 当日までに準備しておくことを記入します

(個人ワーク→ グループワーク)

2. 支援者の動きや必要な配慮を記入します

(個人ワーク→ グループワーク)

3. 当日の事前準備を記入します

(個人ワーク→ グループワーク)

# 発表

1. 活用した氷山モデルの必要なサポート
2. 当日までに準備しておくこと
3. 当日の事前準備の内容
4. 活動の手順と支援者の動きや必要な配慮

# まとめの講義

1. 強度行動障害が現れている方への支援は、支援者が統一した支援をすることが重要。そのために支援手順書を作成する必要があります。
2. 支援手順書は、アセスメントを根拠に作成することが原則で、工程ごとに丁寧に組み立てます。